

# ブロッコリーの発芽・育苗の比較栽培

## 1. 実験題目

腐植物質抽出液（マリネックス）を定植前に葉面散布した夏まきブロッコリー成型苗の高温・干ばつに対する影響の観察

## 2. 実験内容

- ① 実験期間 平成 13 年 7 月～11 月
- ② 実験場所 東京都農業試験場／立川試験場／圃場
- ③ 実験方法
  - ㊦ 夏まきブロッコリーセル成型苗を本床に定植する 5 日前に、マリネックス 1,000 倍希釈液を 1 回葉面散布した
  - ㊧ 対照区-1 グリーンウェイ（保水剤）50 倍希釈液 1 回散布
  - 対照区-2 グリンナー（蒸散抑制剤）15 倍希釈液 1 回散布
  - ㊨ 測定項目 全重、草丈、葉数、側枝重、花蕾径、花蕾高、茎径

## 3. 実験結果

### ① 結果内容（測定結果）

≪夏まきブロッコリーセル成型苗の高温・干ばつに対する定植前処理の影響≫

品種	処理剤 (希釈倍率)	収穫日 月/日	全重 g	草丈 cm	葉数 枚	側枝重 g	花蕾径 cm	花蕾高 cm	茎径 cm
グリーン パラソル	マリネックス	11/23	2,094	88	19	148	13.6	6.3	5.2
	グリーンウェイ	11/26	1,911	86	19	123	13.2	6.3	5.1
	グリンナー	11/25	1,986	87	19	116	13.8	5.9	5.1

収穫日に 2～3 日の差があるが上記の測定結果、全重、側枝重等は  
試験区>対照区-1>対照区-2 となり、草丈、葉数、茎径等は差がほとんど無かった。

### ② 結果考察

全重や側枝重等が対照区より重くなったのは、植物の生命維持に欠かせない組織細胞の形成時に腐植物質に含まれるミネラル（特に微量元素）が十分に根や樹体に吸収されて、ガッチリ苗を作り、細胞劣化によるヤセが来る高温・干ばつ期にも細胞内で保水をしたものと推定できる。又、初期（幼根、幼葉時）の成長時に樹体内に肥料やミネラルが十分に吸収されたことで、高温期にストレスを与えず、栄養成長から生殖成長まで樹体を強固にし、収量が増加した。